

会 議 録

1 会議名

第10回浦川原区地域協議会

2 議題（公開・非公開の別）

(1)報告（公開）

ア 会長報告

- ・浦川原区における平成30年度地域活動支援事業の採択方針案について

イ 委員報告

（報告なし）

ウ 市からの報告

- ・平成29年度浦川原区地域活動支援事業報告会事業結果について
- ・平成30年度地域活動支援事業の概要（案）について
- ・霧ヶ岳温泉ゆあみのサウンディング型市場調査による再活用に向けての取組について
- ・平成30年度に実施する浦川原区における主な事業について

(2)協議（公開）

(3)その他（公開）

ア 中学生との意見交換会について

イ 次回の開催日時等について

ウ 平成30年度の浦川原区総合事務所職員異動について

3 開催日時

平成30年3月26日（月）午後6時30分から午後7時30分まで

4 開催場所

浦川原コミュニティプラザ 市民活動室4・5

5 傍聴人の数

1人

6 非公開の理由

—

7 出席した者（傍聴人を除く）氏名（敬称略）

- ・委 員：五十嵐広美、池田幸博、金子百合江、杉田和久、西山康博、福井克利、藤田宏輝会

長、村松清、村松進副会長、和栗恵子副会長

- ・事務局：浦川原区総合事務所大坪所長、岩野次長、総務・地域振興グループ岩野グループ長、産業グループ山崎グループ長、建設グループ小林グループ長、市民生活・福祉グループ五井野グループ長、総務・地域振興グループ宮川班長、産業グループ柳澤班長

8 発言の内容

【藤田会長】

- ・会議の開会を宣言。
- ・上越市地域自治区の設置に関する条例第8条第2項の規定により、委員の半数以上が出席しているので、会議が成立する旨を報告。
- ・出席者は10人。欠席委員は市村委員と前島委員で、金子委員から遅れるとの連絡あり。
- ・会議録の確認：村松清委員。

【藤田会長】

それでは、「2 報告」に入る。「(1) 会長報告」の「① 浦川原区における平成30年度の地域活動支援事業の採択方針について」説明する。

(資料1に沿って説明。)

今、説明させていただいたが、既に皆さんより審議していただいているため、報告とする。「2 報告」については関連があるため最後に全体で皆さんよりご意見をいただくこととする。

次に「(2) 委員報告」で委員の皆さんから何かないか。

(会場から「なし」の声。)

続いて「(3) 市からの報告」で「① 平成29年度浦川原区地域活動支援事業報告会事業結果について」と併せて「② 平成30年度地域活動支援事業の概要(案)について」岩野グループ長より説明いただく。

【総務・地域振興グループ岩野グループ長】

(資料2、事前配布資料に沿って説明。)

【藤田会長】

これについて、皆さんからのご意見をいただきたい。

地域活動支援事業の報告会の結果について岩野グループ長より説明いただいたが、参加人数23人のうち市民が2人であるというお話であり、正直、非常にさみしく思っ

いる。このことについては報告会だけではなく、この地域協議会そのものも非常に関心が薄く、関係者だけとなっている。こういった形で市民の皆さんから関心を持っていただくかということも併せて考えていかなければならないと思っている。

次に「③ 霧ヶ岳温泉ゆあみのサウンディング型市場調査による再活用に向けての取組について」山崎グループ長より説明いただく。

【産業グループ山崎グループ長】

霧ヶ岳温泉ゆあみについては、平成28年2月13日に、その前年度の1年をかけて地域で協議していただいた結果、次の意見を意見書としていただいた。提出された意見書の中で市に対しては、「公の施設の再配置計画により、平成28年度をもって休止するの方針についてはやむを得ないと判断する。」また、休止後のゆあみの活用について、次のとおり提案するというので、「1 現在の温浴施設としてのゆあみを運営する民間事業者等の譲渡先を精力的に探すこと。」また、「温浴施設として譲渡先がない場合は、現在の建物を活用した事業を展開する事業者などを探すこと。」、「2 単に公募だけではなく市は可能な限り周知と打診を行うこと。」といった内容となっていた。

市では平成28年度にこの意見に対する取組を行う計画であったが、当時のゆあみの業務委託を受けていたNPO法人夢あふれるまち浦川原が購入した備品について、市による買い取り等の課題整理に約1年を要したことから、平成29年度の取組となった。

昨年6月23日に開催した第3回の地域協議会において、温浴施設だけでなく施設の活用について広く民間事業者の活用意見を聞き、活用に関わり付ける『サウンディング型市場調査』を実施することを報告させていただいた。

市ではサウンディング型市場調査のために市内に本店、支店のある7つの金融機関を訪問し協力を要請するとともに、公募するだけではなく市として活用が見込まれると思われるセレモニーホールや福祉施設、温浴施設の運営事業者に活用の打診を行った。

打診後、温浴施設の活用で1つの事業者が施設の視察をされたが、自分たちの計画規模よりゆあみの施設が小さいということで計画の提案をいただくまでには至らなかった。現時点で、民間事業者による再活用は非常に低い状況である。

【藤田会長】

これについて皆さんのご意見をいただく。

この報告を受けて、具体的にどうすればよいのかということであるが、今になって「稼働してほしい」「もったいない」といった声が私の耳に届いている。また、「いつ、温浴施設として稼働するのか」といった話も出ている。そしてゆあみ周辺のイベントとし

て「うらがわら雪あかりフェスタ」があり、建物のトイレにも行けないとのことで苦情や要望があった。今後、これをどうまとめていくか、市へどう意見書をもっていくかということが我々地域協議会の仕事だと思っている。皆さんからは、その辺についての意見、地域の要望等が聞こえていれば発表していただきたい。

以前に説明はあったが、サウンディング型市場調査についても一度、制度の説明をいただきたい。

【産業グループ山崎グループ長】

サウンディング型市場調査とは、市有地等の活用や検討に当たり、その活用方法について民間事業者から広く意見や提案を求め、民間の活力を最大限活用した可能性を検討するもので、民間事業者との直接対話を通して、利活用のノウハウやアイデアを調査する対話型の市場調査である。

【藤田会長】

私自身も検討するに当たり、ゆあみ敷地の借地料が非常に高いといった問題がある。休止する前から、地権者との話し合いを十分にしていただかないと、民間事業者ではなかなか手を挙げていただけないのではないかと話をさせていただいていた。市も当然、借地料の値下げ等も交渉されていると思うが、ある人物を通して地権者へ直接話をしたらどうかといった話も出ている。借地料は課題としてこれから進めていきたいと思っている。市が借用しているということで、市とすり合せをさせていただき、行動しなければならないと思っており、新年度からは少し行動を起こしていきたいと思っている。

市としては、このサウンディング型市場調査において、民間事業者から提案がなかったもので、仕方がないというお考えなのか。

【大坪所長】

市では市場調査としてあらかじめこういう施設でといった限定ではなく、どういった可能性があるかということで、民間の皆さんのお考えをお聞きしたかった。先ほど山崎グループ長が説明したとおり、問い合わせは3件ほどあったが、借地料の話までは行っていないが、施設的に難しい、ここで温浴施設をやっても誘客は厳しい、規模が合わない、商業的に使えるかと思ってみたが、交通量等から非常に厳しいということで、なかなか民間事業者も「こう活用したらよいのでは」といったアイデアはいただけなかった。

今日は報告ということで、これで終わりではない。

昨年6月から今日まで何度も銀行へ連絡したり、足を運んだりしているが良いお話はいただけていない。民間事業者も資金調達の際に必ず銀行と協議すると思うが、なかなか

か厳しい。特に福祉施設を建設しても介護職員がいないといった課題もあると聞いている。市としても何か活用案が無いか検討しているが、なかなか活用が無いといったところが正直なところである。

平成28年2月にいただいた意見の中でも、地域のためになる施設ということで、地域の皆さんがどういった形で使えば賑やかにできるとお考えなのか、集会施設だと各町内会に大きな集会施設があり、果たして活用できるのかどうか、イベント時には臨時トイレや簡易トイレを設置することはできるが、恒常的に何ができるのか行政も頭を悩ませているというところが正直なところである。

【藤田会長】

今、行政の考えもお聞きした。新年度から我々地域協議会も知恵を絞って提案をしていくという確認でよろしいか。

(会場内から「はい。」の声)

傍観するだけではなく、提案していくという形で了解いただきたい。

次に「④ 平成30年度に実施する浦川原区における主な事業について」担当グループのグループ長より説明いただく。

【総務・地域振興グループ岩野グループ長】

【産業グループ山崎グループ長】

【建設グループ小林グループ長】

【市民生活・福祉グループ五井野グループ長】

【教育・文化グループ五井野グループ長】

(資料3に沿って説明。)

【藤田会長】

これについて、皆さんのご意見、質問をいただきたい。

【池田委員】

資料4番の「町内会関係費集会場整備費補助事業」で、修繕工事や耐震診断に係る費用に関して、これまでは補助率が25%で上限額が400万円だったと記憶しているが、新年度からは補助率50%という説明があったが、これは整備、修繕、耐震診断の他に新築の場合でも適用されるのか。浦川原区内で集会場がない町内会もいくつかあるが、新築でもこの50%の補助が適用されるのか。

【総務・地域振興グループ岩野グループ長】

新築でも適用される。また、上限額として現行は400万円であるが、平成30年度

からは上限は750万円になる。そしてもう1点大きく変わったのは、事業費の下限額が設定されており、今までは50万円以上でないと対象にならなかったが今回、新築、修繕に関しては下限額が30万円以上であれば対象となるということで制度改正されている。

【五十嵐委員】

25番の「浦川原区体育施設管理運営費」について、毎年体育館脇のパチンコ屋さんとの間の駐車場整備の話が出ていて、健康診断や各種大会、イベント等にも駐車場を利用しているが、水浸しでぬかるんでおり、舗装とは言わないが敷砂利等で整備していただきたいと思うが予算として計上されているか。

【教育・文化グループ五井野グループ長】

駐車場の水たまりができていて低いところから順次行いたいと思っている。ただ、単年度で全て平らにできるかわからないが、敷砂利を実施する予定である。

【藤田会長】

私から2件あり、6番の「鉄道駅舎等管理運営費」で「うらがわら駅待合室用地の購入」とあるが、今まで購入されていなかったのか。それと、18番の「浦川原保健センターの管理運営費」だが、建物そのものは社会福祉協議会の所有となっているのはいか。

【総務・地域振興グループ岩野グループ長】

まず6番について説明する。うらがわら駅待合室については、今まで賃貸借契約によりお借りしていたが、平成30年度に用地売買を行うことで進めている。

【藤田会長】

待合室だけか。

【総務・地域振興グループ岩野グループ長】

そうである。

【市民生活・福祉グループ五井野グループ長】

18番について説明する。いきいきセンターについては複合施設であり、市の施設と社会福祉協議会の施設がある。資料に計上しているものは市の施設の部分であり、保健センターは玄関向かって左側の1階、2階部分で、生活支援ハウスは玄関向かって右側2階の居住されている部分であり、この部分については社会福祉協議会に指定管理をお願いしているということで予算組みが2本立てとなっている。

【藤田会長】

他にないか。

それでは、「3 協議」に移る。皆さんから何か協議課題はあるか。

(会場内から「なし。」の声)

次に「4 その他」で「(1) 中学生との意見交換会の今後の取り扱い等について」岩野グループ長より説明いただく。

【総務・地域振興グループ岩野グループ長】

(資料4、当日配布資料に沿って説明。)

【藤田会長】

この資料を参考にして皆さんの積極的な提案をお願いしたい。

これについて、何かご意見、ご質問を受ける。

【村松進副会長】

先日、東京浦川原会総会の席で浦川原中学校梅山校長とこの意見交換会について打ち合わせをしてきた。梅山校長からは今後も継続してもらい、中学生に対して浦川原区の見どころというか、良いところを教え込んでもらいたいと言われた。

自分が住んでいて悪いイメージを持っていてはどうしても悪いイメージばかりになってしまうので、少しでも良いイメージを持たせてほしいとお話があった。

今は地域協議会で協議しているが、我々会社でいうとテーマがあって少人数でまとめるQC(クオリティコントロール)の手法であるが、少人数でまとめて、それを具体化して、どういうふうに対策を立てて練り上げていくかということである。

皆さんで資質を上げながら中学生とワークショップをして、中学生に伝えていきたいと思っているので、皆さんの協力をお願いしたい。

【藤田会長】

その他何かないか。

【池田委員】

中学生との意見交換会を実施して丸4年が経ち、ワークショップ形式での実施は3年、来年度も実施するということだが、この意見交換会は村松進副会長がリーダーとなって委員が3人、合計4人が中心になって実施しているのが現状である。メンバーの補てんや、やりたいという委員がいるかわからないが、実施する委員について村松進副会長のお考えをお聞きしたい。

【村松進副会長】

我々委員は2期目であり、1期目の時にワークショップを行った生徒が3年生となっ

て今年卒業した。なぜ意見交換会を実施するかというと、皆さんの地域の未来のためにやっけて行こうということで前任の委員より引き継いできた。

継続して関わっていると、一連の流れがわかってくるが、ごっそりと変えてしまうと流れがわからなくなってしまうので、1人か2人ずつ変えて行けば良いのではないかと私個人としては思っている。

【藤田会長】

その他何かないか。

なければ、次に進める。「(2) 次回の開催日時等について」で、4月20日(金)の午後6時からコミュニティプラザで開催したいということでお願いしたい。よろしいか。

(会場内より「はい。」の声)

地域協議会としては以上であるが、他に何かないか。

【総務・地域振興グループ岩野グループ長】

職員の異動の関係で、3月に内示が出て4月の地域協議会で詳しくお示しするが、今回の異動について13名が退職や転出等となり、同じく13名が転入するといった異動になる。今回、事務局として岩野次長が総務管理課へ、小林建設グループ長が都市整備課へ転出されるので、ここで一言ご挨拶させていただく。

(岩野次長及び建設グループ小林グループ長より挨拶)

【藤田会長】

それでは、平成29年度第10回浦川原区地域協議会を閉会する。

9 問合せ先

浦川原区総合事務所 総務・地域振興グループ

TEL : 025-599-2301 (内線 305)

E-mail : uragawara-ku@city.joetsu.lg.jp

10 その他

別添の会議資料もあわせてご覧ください。